

厚岸町海事記念館通信

発行 厚岸町海事記念館

〒088-1151 厚岸町真栄3丁目4番地

TEL & FAX 0153-52-4040

edu.town.akkeshi.hokkaido.jp/kaiji

No.53

2017年9月発行

厚岸町海事記念館こどもクラブ

だより

今年度で海事記念館こどもクラブは5年目となりました。今年は8名の仲間たちと一緒に、様々な体験学習を通じて協力することの大切さなどを学んでいきたいと思っております。

5月のオリエンテーションでは今後の活動予定の説明や、レクリエーションを行いました。初めましてのお友達も笑顔で交流できました。

6月は太田地区の歴史探訪。学芸員のお話をしっかり聞いて完成させたハンドブックは一生の宝物だね！

7月はアルキメデスの揚水ポンプ作り。古代ギリシャで発明された水を汲み上げる装置を、工作で再現しました。水漏れ事故もあったけれど、水が低い場所から高い場所へ移動する様子を見ることができましたね。



レクリエーション



太田地区の歴史探訪



アルキメデスの揚水ポンプ

床潭沼で17年ぶりにヒブナの生息確認!!

7月21日(金)、厚岸町の床潭沼で17年ぶりとなるヒブナの生息が確認されました。

床潭沼は、昭和47年4月1日、天然記念物「厚岸床潭沼の緋鮎生息地」として北海道の文化財に指定されました。海事記念館では、これまでも床潭沼においてヒブナの生息調査を実施してきましたが、平成12年にヒブナ3匹が確認されて以来、その生息を確認できずにいました。調査方法も、以前は地曳網を用いていましたが、現在はより環境に負荷のかからないカゴによる調査に変更。今回、沼の岸辺を中心に14地点に捕獲用のカゴを設置しました。

前日に仕掛けたカゴを引揚げると、なんとそこには緋色に輝くヒブナが！ 全長15.6cm、体重40g。今回のヒブナ捕獲は、この1匹のみでした。

ただいま、海事記念館では、この17年ぶりに捕獲されたヒブナをより多くの方々に親しんでもらえるように飼育展示しています。ぜひ、この機会に床潭沼のヒブナをご覧いただき、厚岸に残る自然のすばらしさを感じていただければと思います。

ヒブナの無料観賞

場 所：海事記念館1階展示ホール

展示期間：10月29日(日)まで

開館時間：午前9時00分から午後5時00分まで

休 館 日：月曜日または祝祭日の翌日

そ の 他：ヒブナのための観賞は無料



町外の施設を見学「ふるさと教室」

6月25日（日）に、近隣地域の文化財や歴史を学習し、知識の向上を図ることを目的に第45回「ふるさと教室」を開催しました。今回は鶴居村にある温根内ビジターセンターや釧路市の北斗遺跡、そして昨年常設展示がリニューアルされた釧路市立博物館を見学しました。

温根内ビジターセンターでは釧路湿原を散策し、北斗遺跡では復元された竪穴住居に実際に入りそこでの生活について職員の解説を聞きました。また、釧路市立博物館では館内の解説のほか、新しく導入された大画面による水生生物の展示コーナーでは、厚岸町の大黒島についても紹介していました。

参加者の皆さんからは、「解説をしてもらいながら見学することで新しい発見があった」と大変好評でした。



温根内ビジターセンター散策路



北斗遺跡



釧路市立博物館

写真展『心のネガに残るもの』

6月10日から7月9日まで、海事記念館1階ホールにおいて写真展を開催しました。今年も厚岸町の映像集団「光風」、弟子屈町の「フォト仲間」、鶴居村の「鶴居タンチョウサークル」のご協力により、素晴らしい写真の数々を展示することができました。

観覧者の中にはどこで撮った写真なのか興味を持たれた方もおり、好評な展示会となりました。皆さんも、ぜひカメラ片手に出かけて様々な情景を撮ってみてはいかがでしょうか？



重要文化財指定25周年記念「正行寺本堂展」

国の重要文化財指定25周年を記念して、「正行寺本堂展—過去から未来へ—」を7月1日（土）から17日（月）まで、海事記念館1階会議室と正行寺本堂を会場として開催しました。

海事記念館では、正行寺本堂の創建の経緯やそれを取りまく人々、平成4年（1992）1月21日の重要文化財指定の状況や平成の大修理の様子などを、写真やパネルで紹介しました。また、正行寺ゆかりの屏風や掛け軸なども展示しました。

本堂では、欄間の牡丹の透かし彫りや内陣の十六弁菊花紋、白檀塗りの襖絵などの解説パネルを設置し、一般に公開しました。

なお、7月2日（日）と7月15日（土）の2日間、学芸員による特別解説を実施し、本堂が新潟県で解体され船で運ばれて移築された様子や、移築の際に新しく加えられた西洋風のドアや明治期のガラスがそのまま使用されているガラス戸などについて説明しました。

期間中、海事記念館には680名、正行寺本堂には80名の見学者が訪れ、重要文化財について認識を新たにしていました。



☆ 海事記念館のプラネタリウム ☆

海事記念館のプラネタリウムでは現在、秋の星座を紹介しています。秋の夜空は古代エチオピアを舞台にした神話の星座がたくさん輝いています。プラネタリウムの観賞は高校生以下は無料、大人は入館料のみでご覧いただけます。多数のご来場、お待ちしております。



開始時間 平日 15:30
土日祝日 11:00 13:30 15:30

～9月の海事記念館事業のお知らせ～

ほしぞら教室～土星の環を見よう～

9月13日（水）午後7時15分から太田小学校のグラウンドで、秋のほしぞら教室を実施します。釧路市こども遊学館の移動天文車「カシオペヤ号」による星雲・星団の観測や、天文スタッフによる星座の生解説を堪能しましょう！ 去年は床潭小学校で3回も流れ星を見ることができました。今年はどうでしょうか？

また、土星が見頃となっています。土星の環は有名ですが、それを見たことは、ありますか？ 望遠鏡で覗いてみましょう！

日 時 9月13日（水）午後7:15
※天候により14日（木）に延期することがあります。延期日も悪天候の場合は中止となります。

会 場 太田小学校 ※現地集合

参加料 無料

その他 夜間の実施ですので、防寒対策をしてください。



厚岸の歴史を知ろう！『文化財歴史講演会』

講 師 釧路短期大学
教授 佐藤 宥紹 氏

日 時 9月23日（土）
10:00～12:00

場 所 本の森厚岸情報館

内 容 厚岸町には国や北海道、町が指定した文化財が皆さんの身近に多くあります。この講演会ではそれら文化財の歴史的重要性について講演していただき、保護や活用方法についてわかりやすく解説します。

その他 参加料は無料



■本紙掲載の事業・記事についての問い合わせは、
海事記念館 (TEL/Fax0153-52-4040) までお願いいたします。